

「愛するまち」を、あなたとつくる。

DIAMOND
CITY

CSRレポート 2004

このCSRレポートについて

ダイヤモンドシティの事業活動は、テナント・お取引先の皆様、お客様・地域社会の皆様、株主や投資家の皆様、そして従業員など、幅広いステークホルダー（関係者）の皆様との関係から成り立っています。

ダイヤモンドシティがめざしているCSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)とは、ショッピングセンター(SC)の創造という事業活動を通じて、ステークホルダーの皆様へ価値をご提供し、信頼を獲得することで、社会の持続的成長とともに、私たちも同じく成長を遂げていくことです。

このCSRレポートでは、2004年度におけるダイヤモンドシティのCSR活動と理念をまとめ、各ステークホルダーの皆様との関わりを説明しています。

ダイヤモンドシティは、ステークホルダーの皆様との新しいコミュニケーションへのスタートとして、このCSRレポートを発行しました。今後も社会的責任を認識し、社会により貢献する事業活動を行っていく決意です。

目次

ダイヤモンドシティがめざすもの(社長メッセージ)	2
ダイヤモンドシティの企業概要	4
ダイヤモンドシティのビジネスとCSR	6
ダイヤモンドシティCSRの継続的遂行	8
特集:「愛するまち」を、あなたとつくる。	10
ステークホルダーの皆様とともに	14
環境への取り組み	22
グロスアリー(用語集)	27

「愛するまち」を、あなたとつくる。

ダイヤモンドシティは、商業専門ディベロッパーのパイオニアとして、
地域社会の発展とお客様の生活文化の向上に貢献する企業でありたいと考えています。
私たちが各地に展開するSCの一つひとつが、
皆様から「愛されるまち」となるよう、全力で取り組んでいます。



ダイヤモンドシティがめざすもの

～お客様の生活文化の向上と地域社会の発展に貢献する企業として～

地域に貢献するSCづくり

ダイヤモンドシティでは、業界におけるリーディングカンパニーとしての揺ぎ無い地位の獲得をめざし、2002年3月より「革新と実行」をコンセプトとする3カ年の中期経営計画を推進しています。「コンセプト」「規模」「マネジメントシステム」によってSCを開発・運営・管理する私たちのこの計画は順調に目標をクリアしています。2004年2月期においては、回遊性の高い本格的2核1モールの代表的な施設として「ダイヤモンドシティ・キャラ(埼玉)」 「ダイヤモンドシティ・テラス(兵庫)」が特に好調を維持しており、私たちのSC戦略の方向性の正しさを証明しています。さらに2004年3月以降にオープンさせた「ダイヤモンドシティ・ハナ(京都)」 「ダイヤモンドシティ・ソレイユ(広島)」 「ダイヤモンドシティ・アルル(奈良)」 「ダイヤモンドシティ・ルクル(福岡)」 「ダイヤモンドシティ・キリオ(愛知)」、そして10月にオープンした「ダイヤモンドシティ・ブラウ(大阪)」なども、地域の人々の日常生活へのサポートと「ひとつ上、ひとつ先」の生活の実現をお手伝いし、そして地域社会に活気溢れるコミュニケーションを提供する場として、地域社会の発展とお客様の生活文化の向上に貢献できているものと自負しています。

21世紀の“まち”づくりに向けて

私たちは企業姿勢として、地域社会、地球環境との共生を重視した事業活動をめざしています。それは「ダイヤモンドシティ行動規範」の中で、地域社会に根ざす企業市民として責任を果たすことを明確に宣言しており、安全・快適・清潔なSCづくりのため、SC敷地内での植樹やダイヤモンドシティ全館の従業員による周辺地域の清掃をはじめとして、様々な環境保全・社会貢献活動に取り組んでいます。

SC開発を計画する際には、ハートビル法(高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律)はもちろん、ユニバーサルデザイン推進指標に基づき設備とサービスの導入に努め、健常者のお客様だけでなく、高齢者、お体の不自由な方などあらゆる方々がお客様として安心してご利用いただけるよう、充分な配慮をしています。さらに、電力会社の推奨する蓄熱受託制度を利用した大規模STL蓄熱システムの採用や、SC周辺道路の渋滞対策やCO₂対策など、環境に対しても前向きに取り組んでいます。

ます。そして、ダイヤモンドシティではすべての事業所において環境マネジメントの国際規格であるISO14001の認証を取得(新店は取得準備中)しています。

私はこれからの時代、SCの開発・運営・管理という私たちのビジネスが、地域社会の発展の一助となりうる可能性が高く、また同時に責任感を自覚しなければならないと考えます。「ダイヤモンドシティ・テラス(兵庫)」では、お客様の生の声をお伺いし運営に活かすため、パートナーシップボードを組織しました。このように私たちの事業を通じて社会に貢献するビジネスモデルには、まだまだ改良の余地があります。この仕組みを向上させることで、さらなるダイヤモンドシティの企業成長をめざすと同時に、地域社会とすべてのステークホルダーの皆様に対して、透明性の高いオープンな企業集団をつくり上げる所存でございます。

その第一歩として、今回CSRレポートを作成しました。皆様の声を経営に反映させることで、企業価値の向上に努めていきたいと考えております。

2005年1月

株式会社ダイヤモンドシティ
代表取締役社長

岡 洋三



経営理念

私達は、
商業専門ディベロッパーの
パイオニアとしての誇りを持ち、
地域社会の発展と
お客様の生活文化の向上に
貢献する企業として、
ショッピングセンターの創造に
挑戦し続けます。

ダイヤモンドシティ 行動規範^(抜粋)

1. 私達は、テナント各位をパートナーとして、お客様の安全を心がけお客様にご満足いただける商品とサービスを提供します。
2. 私達は、地域社会に根ざす企業市民としての責任を果たします。
3. 私達は働き甲斐のある職場環境づくりに取り組むとともに常に高い目標を追求します。
4. 私達は、公正・透明な取引を行うとともに社外との健全かつ正常な関係を保ちます。
5. 私達は、株主に正確な企業情報を適切かつタイムリーに開示し、経営の透明性を高め開かれた企業をめざします。

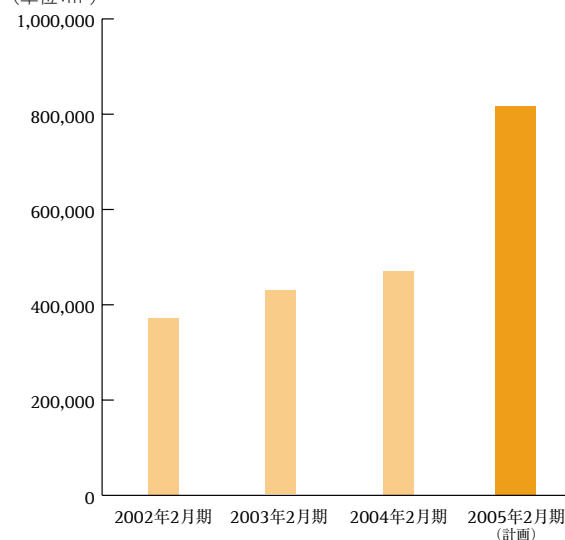
ダイヤモンドシティの企業概要

会社データ

会社名称： 株式会社ダイヤモンドシティ
 本社所在地： 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目4番11号
 設立： 1969年3月20日
 代表者： 代表取締役社長 鯛 洋三
 資本金： 61億4,570万円（2004年8月31日現在）
 連結営業収益： 194億9,300万円（2004年8月中間期実績）
 従業員数： 210人（2004年8月31日現在）
 株主数： 3,797名（2004年8月31日現在）
 大株主： イオン株式会社（29.62%）
 三菱商事株式会社（29.61%）
 上場証券取引所： 東京証券取引所（市場第一部）
 大阪証券取引所（市場第一部）
 決算期： 毎年2月末日
 一単元の株式数： 100株

管理面積の推移

（単位：m²）



主要SCの一覧

	所在地	営業開始	管理面積 (m ²)	駐車台数 (台)
東住吉SC**	大阪市平野区	1970年 6月	14,000	800
名西SC	名古屋市西区	1970年 11月	27,000	700
藤井寺SC	大阪府藤井寺市	1973年 12月	20,000	680
寝屋川グリーンシティ	大阪府寝屋川市	1978年 3月	27,000	710
京都ファミリー*	京都市右京区	1982年 11月	24,000	700
川口グリーンシティ	埼玉県川口市	1984年 4月	36,000	1,100
ならファミリー*	奈良県奈良市	1972年 3月	81,000	1,850
ワンダーシティ	名古屋市西区	1994年 3月	28,000	3,000
熊本南SC	熊本県下益城郡小川町	1997年 11月	56,000	3,800
ダイヤモンドシティ・キャラ	埼玉県川口市	2000年 11月	54,000	2,060
ダイヤモンドシティ・テラス	兵庫県伊丹市	2002年 10月	58,000	2,610
ダイヤモンドシティ・ハナ	京都市右京区	2004年 3月	40,000	1,690
ダイヤモンドシティ・ソレイユ	広島県安芸郡府中町	2004年 3月	81,000	4,300
ダイヤモンドシティ・アルル	奈良県橿原市	2004年 4月	59,000	3,300
ダイヤモンドシティ・ルクル	福岡県糟屋郡粕屋町	2004年 6月	71,000	4,200
ダイヤモンドシティ・キリオ	愛知県葉栗郡木曽川町	2004年 6月	61,000	4,000
ダイヤモンドシティ・プラウ	大阪府堺市	2004年 10月	74,000	2,800

*ダイヤモンドファミリー物件

** 東住吉SCは2004年10月2日に閉店

2004年オープンのSC

ダイヤモンドシティ・ブラウ
(大阪府堺市)



ダイヤモンドシティ・ハナ
(京都市右京区)



ダイヤモンドシティ・キリオ
(愛知県葉栗郡木曽川町)



ダイヤモンドシティ・ルクル
(福岡県糟屋郡粕屋町)



ダイヤモンドシティ・アルル
(奈良県橿原市)



ダイヤモンドシティ・ソレイユ
(広島県安芸郡府中町)



ダイヤモンドシティのビジネスとCSR

～「愛するまち」を、あなたとつくる～

ダイヤモンドシティは、すべてのステークホルダーに対して、“「愛するまち」を、あなたとつくる”をめざすべきビジョンとして掲げています。これは輝きと感動に溢れた“まち”を、様々な立場のステークホルダーの皆様とともに作り上げるということです。言い換えれば、私たち自身が皆様からご支持いただける存在であり続けることに他なりません。

そして、すべてのステークホルダーの皆様にお約束するブランドとしてのテーマは、「ひとつ上、ひとつ先」です。お客様・地域社会へはバリューを、テナント・お取引先にはサポートを、従業員には働く喜びを、そして株主・投資家の皆様には投資価値をご提供することです。こうしたすべての方々に「ひとつ上、ひとつ先」の価値をご提供することが、ダイヤモンドシティのビジネスの基本であると位置づけ、積極的に取り組んでいく考えです。欲しいものが何でも揃う便利さ、美しく清潔な施設が提供する快適性、その地域固有の文化・伝統を尊重し、老若男女、お体の不自由な方などまで、すべての方々に思いやりを込めた姿勢で臨みます。私たちはビジネスをとおして地域に暮らす人々に愛される“まち”を創造することで、ますます地域社会が発展していくことを望んでいます。

ダイヤモンドシティのCSRコンセプト

地域社会の発展・ 遊休地の活性化

モール型SC
地域経済の活性化
コミュニティの拠点
新しい生活提案

あらゆるステークホルダーに 向けて「愛するまち」を、 あなたとつくる

お客様・地域社会へ

ひとつ上、ひとつ先のバリューを提供

テナント・お取引先へ

ひとつ上、ひとつ先のサポートを提供

従業員へ

ひとつ上、ひとつ先の働く喜びを提供

株主・投資家の皆様へ

ひとつ上、ひとつ先の投資価値を提供

新たな課題・ 地域への影響

環境などへの影響
社会的な役割の増大
地域社会への影響

魅力的な“まち”づくり

1. 効果と効率のバランス
2. 回遊性の高いSC開発
3. 快適なショッピングモール開発
4. 街づくり視点の開発
5. 顧客満足の提供
6. 人と環境にやさしいSC開発
7. 環境負荷の継続的改善

地域社会に貢献するSC“まち”づくり

私たちがめざすSCづくり

新しいショッピングセンターの開発が、新しい魅力的な街の誕生となり、人々の暮らしを豊かにします。

21世紀、私たちダイヤモンドシティは、SCが単に必要なモノを購入するための場所から、地域のコミュニティ拠点として、その地域に望まれ、生活者に望まれる様々な機能を

高度に複合し、より快適で豊かな生活環境を具現化する場として大きな役割を担うものと確信しています。ダイヤモンドシティは、SCづくりの基本コンセプトとして、「地域社会に貢献するSCづくり」を掲げ、その一つひとつのSC“まち”が、新しい生活文化を創造することをめざします。

ショッピングセンター専門のディベロッパー

- ダイヤモンドシティは、日本のSC開発において、業界随一の実績を誇るショッピングセンター専門ディベロッパーです。
- ダイヤモンドシティは、常に一步先の時代を見据えたSC開発を行い、生活者にとってより便利・快適で、より豊かな都市生活を具現化するお手伝いをしています。
- ダイヤモンドシティは、常に変化する生活者のライフスタイルに訴求する、他に類を見ない「魅力」と「情報」を満載し、期待に応える大規模なSC開発を行っています。
- ダイヤモンドシティは、モノ・コト・情報・サービスの充足を求める生活者に対して、生活設計・生活文化を提案し、支援する生活デザインセンターとしてのSC開発を行っています。
- ダイヤモンドシティは、地球環境との共生を大切に考え、常に“まち”づくりの観点からSC開発を行っています。
- ダイヤモンドシティは、日本におけるSC開発、運営、管理の経験とノウハウをもとに、日本進出をめざしている海外企業や小売企業の皆様のサポートをトータルに行います。

21世紀対応型SCの7つのこだわり

1. ダイヤモンドシティは、効果と効率のバランスのとれたショッピングセンターを開発します。
2. ダイヤモンドシティは、複数の核店舗を導入し、確かな比較購買を実現し、回遊性の高いSCを開発します。
3. ダイヤモンドシティは、魅力ある“旬”の専門店を集積し、回遊性に優れた、快適なショッピングモールを開発します。
4. ダイヤモンドシティは、都市近郊の郊外地において大規模商業施設としての立地創造を行い、“まち”づくりの観点からSCを開発します。
5. ダイヤモンドシティは、徹底したマーチャンダイジングを実践し、多様な暮らしの実現のため、顧客満足を提供し続けるSCを開発します。
6. ダイヤモンドシティは、人と環境にやさしい、安全で快適な、心地のよいSCを開発します。
7. ダイヤモンドシティは、ISO14001認証を取得（2001年1月21日EMS:57568）。今後も目的、目標を設定し継続的改善に向けた取り組みをしています。



ダイヤモンドシティCSRの継続的遂行

～地域社会に根ざす企業市民としての責任～

ダイヤモンドシティの経営理念の背景には、ただ単に経済的な価値の増大を追求するだけでなく、地域社会との共存や環境保全活動、そして社会貢献活動などを通じて皆様から高く評価される企業でありたいという考えが存在しています。SC自体は、地域社会に与える影響が大きく、また環境負荷も高い施設を抱えています。「環境と人にやさしいSCづくり」を開発の重要な要素に据えて、ユニバーサルデザインの採用、環境負荷低減策を設計段階から計画するなど、根源的な取り組みを積極的に展開しています。こうしたダイヤモンドシティの活動を表明するものが「愛するまち」を、あなたとつくる」という私たちのビジョンであり、あらゆるステークホルダーの方々へのお約束(プロミス)という形で明確化させています。さらに、ダイヤモンドシティで働くすべての従業員に「ダイヤモンドシティ行動規範」のカード携帯を義務づけており、コンプライアンス委員会のもと、社員のコンプライアンス意識の向上に努めています。こうしたCSRに基づく企業活動を推進する上で、コーポレート・ガバナンスの強化は重要な経営課題として認識しており、地域社会に根ざす企業市民としての責任を果たすために積極的に取り組んでいきます。

ダイヤモンドシティのCSRマネジメント

コーポレート・ガバナンス

経営理念

私たちは、商業専門ディベロッパーのパイオニアとしての誇りを持ち、地域社会の発展とお客様の生活文化の向上に貢献する企業として、SCの創造に挑戦し続けます。

ビジョン

「愛するまち」を、あなたとつくる
私たちダイヤモンドシティは、輝きと感動に溢れた街を、お客様とともに作り続けます。そして、お客様の心のシェアのNo.1になります。

プロミス*

- ・お客様・地域社会へ
- ・テナント・お取引先へ
- ・従業員へ
- ・株主・投資家の皆様へ

*右ページを参照

ダイヤモンドシティ 行動規範*

*3ページを参照

経営理念をベースとしたCSR

ダイヤモンドシティの経営理念の根底にあるものは、安心・安全・快適・清潔なSCづくりを通じて、地域社会や皆様との共生に努めていくことです。これを全社員に周知徹底するために、「ダイヤモンドシティ行動規範」のカード携帯を義務づけており、社員の意識向上に努めています。また、対外的に私たちの考えをアピールするために、「「愛するまち」を、あなたとつくる」というビジョンを掲げています。さらに、このビジョンをステークホルダーの方々へのお約束（プロミス）として明文化し、私たちの対外的な価値向上をめざしています。

プロミス

● お客様・地域社会へ

買う・観る・遊ぶ・食べる・話す・知る・磨く・憩うなど、多彩な機能を複合したダイヤモンドシティならではの魅力を、一つ上のクオリティで提供します。

● テナント・お取引先へ

単なるスペースの提供を超え、数多くのテナントを持つ強みと地域密着型施設としてのメリットを生かし、テナントとは視点の違うコンサルレベルのサポートまでを提供します。

● 従業員へ

一人ひとりの意欲とビジョンに応え、働くことに誇りと喜びを持てる職場を提供します。

● 株主・投資家の皆様へ

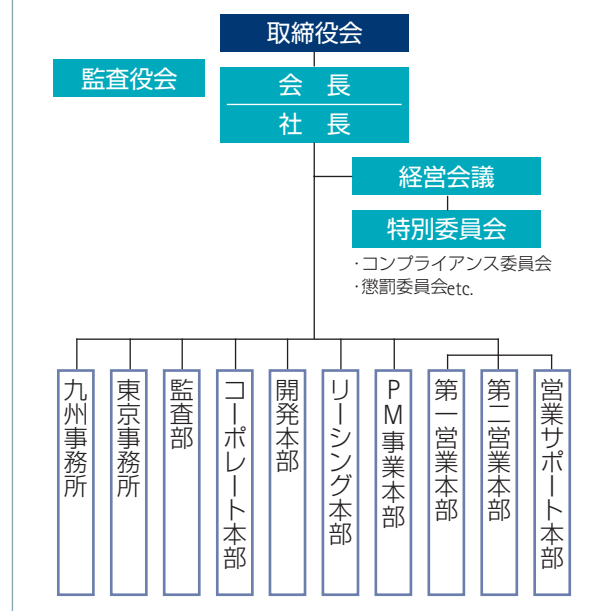
投資先としての確実性と成長性の双方を持ち、またマインド面での優位を感じられる投資価値を提供します。

コーポレート・ガバナンスおよび企業倫理について

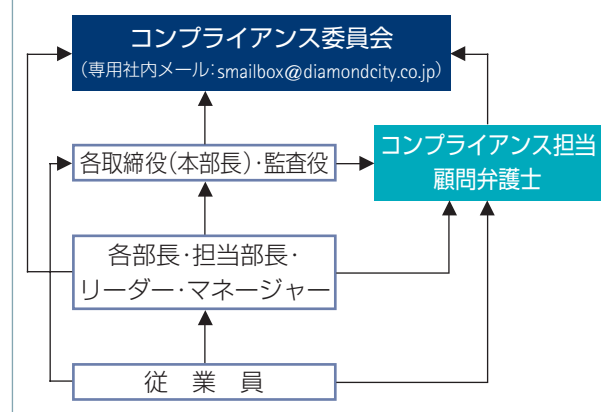
経営環境の変化に対する迅速な対応とともに、ステークホルダーの方々に対する説明責任を果たし、倫理観の高い企業風土を醸成し続ける上で、コーポレート・ガバナンスの強化を経営における重要課題の一つとして位置づけ、積極的に取り組んでいます。ダイヤモンドシティでは社外監査

役制度を採用しており、監査役4名全員が社外監査役です。また、取締役11名のうち2名が社外取締役です。また、経営判断の透明性を高めるための社長諮問機関として、常勤役員による経営会議を毎週開催。さらに、顧問弁護士を含めたコンプライアンス委員会を設置し、定例会議を年2回（必要に応じ臨時会議）開催して浸透状況の把握・情報交換・コンプライアンス体制の見直し（PDCAサイクルの改善）を行うなど、企業活動における法令遵守、倫理性の向上に努めています。

ガバナンス体制



コンプライアンス体制





「愛するまち」を、
あなたとつくる。

地域社会に貢献するSC

地域社会と人々を 豊かにする“まち”づくり

ダイヤモンドシティは、新規のSC開発を積極的に進めています。その際、工場跡地や遊休地といった土地を再開発していくことで、地域社会の豊かさを高めて行くことを基本にしています。

また、ダイヤモンドシティでは、SCの発展と地域社会が豊かになることには大変密接な関係があると考えています。そのためSCの開発にあたっては、地域にふさわしいコンセプトを持ったSCを地域自治体や関係各位との協力のもとに進めています。

そして、SCは広大な敷地面積を持つ商業施設で、多くの人々が集まる場所でもあります。そのため、交通渋滞、騒音、自然破壊、ゴミ問題あるいは周辺小売業などへのインパクトといった周辺地域の社会・環境面への影響も少なくありません。ダイヤモンドシティでは、こうした問題に対しても十分な配慮をしたSCの開発に努め、地域とともに発展していく姿勢を明確にしています。

上から1番目
ダイヤモンドシティ・ハナ

上から2番目
ダイヤモンドシティ・ソレイユ

上から3番目
ダイヤモンドシティ・アルル

上から4番目
ダイヤモンドシティ・キリオ

上から5番目
ダイヤモンドシティ・ルクル

上から6番目
ダイヤモンドシティ・ブラウ



安全・快適・安心なSC

“まち”の機能が充実した 地域のコミュニティ拠点

SCの運営をとおして持続可能な社会の実現に貢献するためには、単にSCの利益を求めるばかりでなく、SCという場が地域のコミュニティの拠点となるよう努力しなくてはならないと考えています。

例えば、役所や警察の出張所などの行政サービス、郵便局や銀行、診療所や歯科医院などのテナントは、“まち”機能を充実させる一例といえます。また、催物コーナーを常設し、特定のテーマの趣味や学習といった教育・文化の交流の場を提供しています。また地域のイベント会場としての場所の提供なども積極的に行っています。



上から1番目

SC内に併設された銀行

上から2番目

安全性を高めるSC内警察の派出所

上から3番目

正月の餅つき＆振る舞い餅イベント

上から4番目

母の日似顔絵イベント

人と環境にやさしいSC

プラスαがなければ 愛されない

ダイヤモンドシティのSCの基本コンセプトの一つは、「人と環境にやさしいSC」です。1994年6月の「ハートビル法」施行以来、ダイヤモンドシティが開発したすべてのSCは、ハートビル法の認定建築物となっています。また、ダイヤモンドシティのSCでは、高齢者、お体の不自由な方、さらにはそこで働く方々も“豊かな時間を消費できる場”とするための多数の配慮がなされています。

また、SCは電気、ガス、水など、多くのエネルギーを使用する施設であり、ゴミなどの廃棄物も多く発生します。ダイヤモンドシティでは、こうしたSC運営上の環境影響を認識し、地球環境保全活動および社会貢献活動を積極的に進めており、全事業所において、ISO14001の認証を取得(新店は取得準備中)しております。

上から1番目

豊かで落ち着いた空間を生み出すバリアフリー構造のジュータン敷きフロアー

上から2番目

館内に設置された低温保存が可能な冷蔵ロッカー

上から3番目

お体の不自由な方専用の駐車場は入口のすぐ近くへ設置

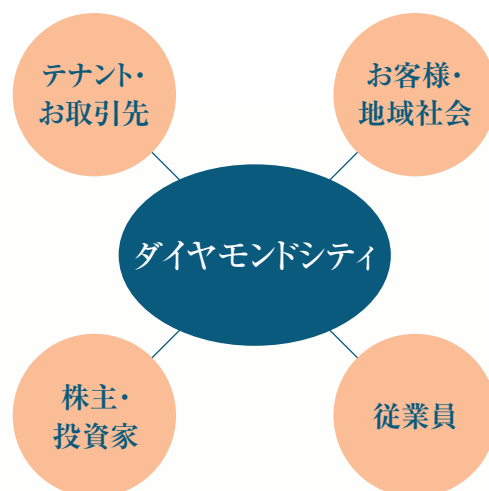
上から4番目

電力会社の推奨する蓄熱受託制度を利用した氷蓄熱システム



ステークホルダーの 皆様とともに

ダイヤモンドシティでは、企業価値の継続的向上に不可欠なものとして、経営環境の変化に対する迅速な対応とともに、ステークホルダーの皆様に対する説明責任を果たし、倫理観の高い企業風土を醸成し続けることであると認識しています。そして、ダイヤモンドシティの事業活動は、「経営理念」「行動規範」に明示されているステークホルダーの皆様、すなわち、テナント・お取引先の皆様、お客様・地域社会の皆様、株主・投資家の皆様、そして従業員との関係によって支えられています。だからこそ、これらステークホルダーの皆様に配慮した事業活動を推し進めていくことが、ダイヤモンドシティでは経営上の重要課題であると位置づけています。



テナント・お取引先の皆様とともに

ショッピングセンターに出店いただくテナントの皆様、そして用地提供者、設計・施工会社、建設会社、道路工事会社、金融機関、施設の清掃・警備などを行う施設管理会社などは、事業活動を成功に導くための協力者であるとともに、地球環境保全や社会貢献活動を推進していく上でも、欠かすことのできない重要なパートナーです。

お客様に安心して購入していただける商品や満足のいくサービスなどは、すべてテナントの方々を通じて提供されます。そのためダイヤモンドシティでは、契約段階において、環境保全や社会貢献活動への基本姿勢や取り組みなどについて充分吟味し、テナント誘致の判断をしています。また、お客様および地域社会からの高い評価という目標を共有できる事業パートナーとの取引を基本としています。

テナントの皆様との契約

2004年12月末現在、ダイヤモンドシティでは、約1,800社のテナント企業と契約しています。このテナント企業の誘致契約にあたる業務は、リーシングと呼ばれ、例えば新店の場合には、事前のマーケティングデータをもとに、SCの規模と地域特性に見合ったテナントの誘致を行います。新規SCを地域社会に根づかせ、成功させるためには、このリーシング段階でのテナントの見極めが鍵を握っています。テナントの方々との契約においては、新規SCのコンセプトや周辺環境の説明と同時に、単位当たりの売上高などの経済的な要因を詰めていきます。私たちの場合は、特に社会貢献や地球環境保全活動に対する企業としての考え方や取り組み状況、法規制の遵守状況などを、経済要因と同様に重要なチェック項目に掲げており、十分な確認の上で契約を行っています。一方、既存店の場合では、マーケットの変化によるゾーニング・コンセプトの見直しおよびそれに伴うテナントの見直しと新たなテナント導入がリーシングのメイン業務です。

リーシング業務における今後の課題

ダイヤモンドシティは、全国に20SC(2004年10月現在)を展開するまでになっており、リーシング段階における新しい課題も顕在化してきています。例えば、「私たちの掲げる



新業態「L・A・S」内のワールド店舗
「フラクサス」

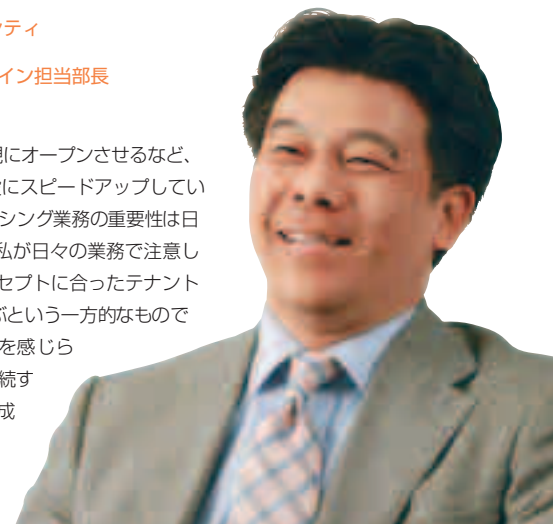


環境対応への考え方をテナントの方々にご理解いただき、実践していただくか?」「飲食関係のテナントの方々に、食の安全性のチェック指導をどのように実施していくか?」「衣料品関係では、海外製品の粗悪品のチェックをどうするのか?」など、いずれもただ単にリーシング段階だけでなく、各店舗の営業との密接な情報共有によるタイアップが重要になってきています。また、長期的な視野では、戦略テナントの発掘、地域の有力店の発掘がとても大きな要素となっています。新しい情報をキャッチして、いかに店舗開発に生かしていくかが大切になってきており、例えば「ワールドグループ」との共同による新業態の開発など新たなチャレンジは、今後のダイヤモンドシティのさらなる企業成長に必ず貢献するものと信じています。

株式会社ダイヤモンドシティ
リーシング本部
雑貨・HBC/サービスライン担当部長

五十川 清成

「2004年は6つのSCを新規にオープンさせるなど、新規出店のペースが格段にスピードアップしています。こうした中で、リーシング業務の重要性は日増しに高まっています。私が日々の業務で注意していることは、SCのコンセプトに合ったテナント企業を見つけ、契約を結ぶという一方的なものではなく、双方にメリットを感じられる契約を結びそれを継続すること、そしてお互いに成長していける関係を構築することです。」



テナントの方々とのコミュニケーションが重要

テナントの売上高向上を図るため、ダイヤモンドシティでは、各テナントに対して営業指導や各種情報提供を行っています。さらに、高齢者やお体の不自由な方々への接客方法や店舗レイアウト、商品価格の表示方法、社会貢献や環境保全に向けた活動提案、テナント従業員のモチベーション向上など、様々な内容のアドバイス業務を行っています。例えば、ダイヤモンドシティでは、入居テナントと協力して運営するシティボードという理事会組織があり、SCに働くすべての従業員に向けた様々な教育、地域との交流や社会貢献活動、そして従業員表彰や衛生検査の実施など、来店者数の増加につなげる数多くの活動を行っています。

さらに、SC全体としてお客様にとって安心してショッピングを楽しんでいただけるように、全テナントをあげてのイベント推進や、そのための情報共有をダイヤモンドシティが主体となって行っています。具体的には、月に一度開催される店長会議は、全SCにおいて前月の反省、翌月以降のSCの方針の確認などの目的で開催され、各テナントとの意見交換が活発に行われます。また、店長会で決められた内容は各テナント従業員に伝達され、SC全体の販促活動、イベント開催・運営などにおいて、確実に実行される体制となっています。例えば、CS（顧客満足）の一環としてワンダーシティでは、目の不自由な方、車椅子の方でも安心して買い物ができるSCをめざして、近隣の学校のヘルパー研

修に協力しています。また今年は、テナントの皆様とともに、手話の講習会をすでに3回実施しています。

テナントの各店長が出席する店長会議



店内での車椅子研修風景



手話講習会の実施



毎朝の社内ミーティング



新作映画の上映キャンペーン

株式会社ダイヤモンドシティ
第二営業本部 ワンダーシティ

日澤 敏江

「お客様に安心して買い物をしていただく売場環境を創造し維持していくためには、テナントの方々との密接なコミュニケーションがとても大切です。

私が特に心がけていることは、男性スタッフにはない女性スタッフならではの感性を発揮することで、テナントの皆様の売上に貢献できる存在でいることです。実際、ジュエリーの店舗において私のアドバイスが役立ったとお褒めの言葉をいただいた時などは、この営業職にとってもやりがいを感じます。」

イベント：小学生のブラスバンド演奏会

新潟県中越地震
チャリティコンサート

イベント：地元名産「南京桃」の展示即売会



警備・清掃・設備などメンテナンスにおける毎朝のミーティング

お取引先の皆様とのリスク管理への取り組み

SC運営においては、お客様への快適な環境を維持することが求められるため、業務内容は多岐にわたります。特に日々の運営においては、警備・清掃・設備などメンテナンス管理を委託しているお取引先企業の皆様を事業パートナーとして捉え、綿密な連携体制を構築することがとても大切です。そのためには情報共有が重要で、毎日ミーティングをし、日々の変化や出来事に対し真剣に向き合い、それぞれの立場で徹底的に話し合い、協力し合って施設環境の改善につなげています。その日の天候に応じた空調管理や警備体制の確認、開催イベントによる来客数の増加への対応など、お客様が安全に気持ちよく過ごしていただけるよう心がけているほか、不測の事態が起こらぬよう、徹底したリスク回避のアクションに努めています。万が一、不測の事態が起こった時に最小限の被害に留め二度と繰り返さないためには、日頃からの準備が必要不可欠です。例えば、立体駐車場など一旦混雑すると2〜3時間は解消しません。雨の日など立体駐車場の利用度が高い時は、入庫制限や館内放送を使い、できる限り混雑しない状況づくりに努め、結果を確認します。時には地域住民の方やお客様からお叱りの言葉を受けることもあります。それらを真摯に受け止め、お取引先の皆様と意見交換し、事前に防ぐ最善の方法を模索します。あるいは、SC外から廃棄物を持ち込んで投棄されない環境をつくります。このように不測事態への対処は、お取引先の皆様との信頼の上に成り立つ、高度なリレーションが求められます。

株式会社ダイヤモンドシティ
第二営業本部 ワンダーシティ
オペレーションマネージャー

坂本 涼子

「私の働くワンダーシティは、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001をダイヤモンドシティで最初に取得したSCです。継続して認証取得するためには、日常業務においてもPDCAサイクルを活用することが大事です。SC運営に係るすべてのお取引先の皆様と良好な関係を築き、常に新鮮な気持ちで、お客様にとって安全で清潔、そして楽しいお買い物ができるSCの実現に何が必要かを考え続けたいと思います。」



お客様・地域社会の皆様とともに

SCの開発・運営・管理を行うダイヤモンドシティにとって、持続可能な社会の実現に貢献するためには、SCが地域の生活インフラの一部として機能すること、すなわちお客様や地域社会の皆様からの信頼を獲得することが最も重要となります。現在ご利用いただけているお客様の数は、既存SCにおけるお客様からの評価とともに、新SCのオープンにより、急速に拡大しています。こうした時期であるからこそ、ダイヤモンドシティでは、将来にわたり継続的にお客様からの信頼を得られるよう、お客様および地域住民の方々の視点に立った安心・安全・快適・清潔なSCづくりと社会貢献活動に取り組んでいます。

お客様と地域社会に対する基本姿勢

ダイヤモンドシティでは、現状に満足することなく、常により良いSCとするため、各SCに「お客様の声ボックス」を設置し、お客様の率直なご意見に耳を傾けています。SCにより多少の違いはありますが、各SCでは月間100件程度の声が寄せられており、その中のご質問に対しては各SCマネージャーから、必ず返信させていただきだけでなく、寄せられた声をもとにSC運営の改善につなげています。また、地域社会をより深く理解するためにお客様と直接対話し、ご意見を伺うことにも努めています。SCのエントランス近くに設置している「インフォメーション」では、笑顔での接客を心がけることにより、お客様が気軽に相談できる雰囲気

を醸成しています。また、「館内案内係」や「介添えサービス」を実施しており、直接お客様と接する機会を持つようにしています。

ダイヤモンドシティでは、お客様にSC内において豊かな時間を過ごしていただきたいと考えています。単に「欲しいものを買う」、「充実したサービスを受ける」といったこと以外に、「くつろげる」、「解放される」、「楽しめる」といった空間の提供に努めています。具体的には、ハートビル法に準拠したバリアフリー施設の実現の他、お体の不自由な方専用の駐車場や多目的トイレ、車椅子の貸出やエレベーターの音声案内などを行っています。また、いつもこころ良さが感じられるSCであるため、毎月一回以上、SC周辺地域のクリーン活動をテナントの方々と共同で行っています。この他には、近隣教育機関の研修協力、地域特性や季節に合わせたイベントを適宜開催しています。さらに、新規SCのオープン前には、地域社会のお子様にもご参加いただき、敷地内に地域の風土に合った樹木を植える「植樹祭」、そして樹木が成長した後には「育樹祭」を開催し、地域住民の方々とのふれあいを大切にしています。

安心と安全

ダイヤモンドシティでは、すべてのお客様の安心と安全を意識した上で、施設内、施設周辺のハード面での安全対策を徹底させています。また、運営ソフト面において、お客様目線でのSC教育がテナント従業員のレベルまで浸透するよう努めています。

また、SCは多くの人が集まり賑やかな場である反面、犯罪、騒音、ごみ問題など、反社会的な問題の発生する場にもなりかねません。こうした地域社会問題に対し、ダイヤモンドシティでは、地元警察の協力を仰ぎ、SC内に派出所を誘致（ダイヤモンドシティ・ルクル）するなど、地域社会の特殊ニーズにも柔軟な対応を図っています。

株式会社ダイヤモンドシティ
第一営業本部
テラス サブマネージャー
錦戸 優

「ダイヤモンドシティ・テラスは、153のテナントがお客様をお迎えする、伊丹地域における一大商業施設です。推測ですが、伊丹市の住民の皆様がこのSCの売上の約半分を占めている状況です。このため、お客様イコール地域社会の皆様であるという認識のもと、皆様に喜んでいただける試みに日々チャレンジしています。」

お客様の声をSC運営に反映させるためのパートナーシップボードのコミュニケーション誌



～様々な社会貢献活動～

植樹祭・育樹祭

SC敷地内に、その土地の気候風土にふさわしい樹木を植えています。SCのオープン前に地域のお子様にもご参加いただき、植樹祭を開催しています。



クリーン活動

各SCでは定期的に周辺地域のクリーン活動を、テナントの皆様とともに積極的に取り組み、地域の皆様に愛されるSCをめざしています。特に、テラスでは毎年7月に伊丹市主催の猪名川クリーン活動にテナントの皆様約200名とともに参加し、地域の皆様と一緒に清掃活動を行っています。



バリアフリー店舗をめざして

ハートビル法に基づく設計を基本とするダイヤモンドシティのSCでは、高齢者やお体の不自由な方、赤ちゃんをお連れの方など、すべての方に快適にショッピングをお楽しみいただけるよう、様々な取り組みを実施しています。

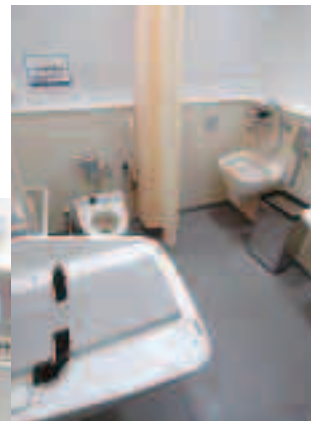


車椅子の貸出



車椅子用自動販売機

多目的トイレ



点字インフォメーション

イオン1%クラブ

「環境保全」「国際的な文化交流・人材交流」「地域の文化・社会の振興」をテーマに、ダイヤモンドシティの経常利益の1%を年間拠出し、様々な環境保全・社会貢献活動に取り組んでいます。(2004年度の予定:3,500万円)



株主・投資家の皆様とともに

株主・投資家の皆様は、ダイヤモンドシティがダイナミックな企業経営を実践する上で、とても重要なステークホルダーであると認識しています。ダイヤモンドシティでは、経営の透明性を高め、説明責任を果たし、倫理観の高い企業風土を醸成していくことを通じて、株主・投資家の皆様にダイヤモンドシティの企業価値をご理解いただけるよう、適切な情報公開を心がけています。

IR活動の目的

ダイヤモンドシティのIR(インベスター・リレーションズ)活動の目的は、株主・投資家の皆様との信頼性の構築を通じて、企業価値の適正な評価を証券市場から得ることです。こうしたことにより、株価の大幅な変動の抑制・安定的な上昇、資金調達の効率化(資金コストの低減)、株主構成の適正化などを目標としています。また、企業価値の一層の向上をめざして、IR活動によって得られた株主・投資家の皆様からの声を経営にフィードバックし、常にマーケットとの双方向コミュニケーションを図っています。

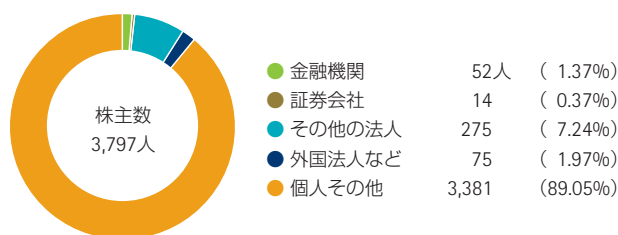
IR活動の現状

株式の発行企業に対する株主・投資家の皆様の関心は、業績を正確に知ることから、今後企業が何をめざし、どのような方向に向かうのかという将来像への把握へと変化していきます。そのために、経営理念や中長期的な経営戦略・事業計画を提示し、確実に実践していくことが求められます。こう

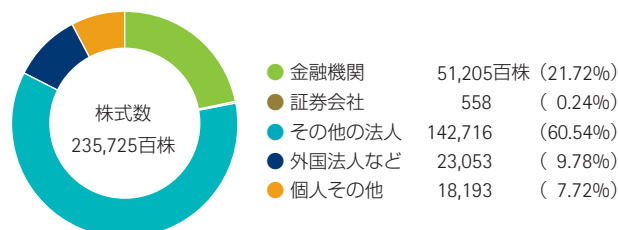
した判断材料を皆様に提示するために、毎年「決算説明会」「中間決算説明会」などの開催や、年次報告書(アニュアル・レポート)などの刊行物の発行とWebサイトの開設により、透明性の高い情報開示を行っています。

また、特に力を入れているのが、個人投資家へのIR活動です。個人投資家の皆様は、ダイヤモンドシティのお客様でもあるとの考えに立ち、各SCにおいてもIR活動を開始しています。今後、ダイヤモンドシティのSCが増加するのに伴い、このIR活動はさらに充実させていく予定です。

所有者別株主数(2004年8月現在)



所有者別株式数(2004年8月現在)



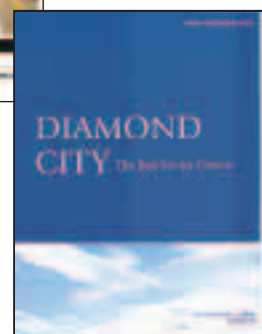
株式会社ダイヤモンドシティ
コーポレート本部
経営企画部長

若林 泰

「個人投資家の皆様は、SCをいつもご利用いただいているダイヤモンドシティのファンであると認識しており、今後もWebサイトの利便性向上、株主優待のさらなる充実、各SCにおけるIR活動の強化などを通じてさらに、多くの方に個人株主(ファン)になっていただきたいと思います。」



ホームページアドレス
<http://www.diamondcity.co.jp/>



従業員とともに

ダイヤモンドシティは、従業員一人ひとりが活き活きと働けるための様々な取り組みを進めるとともに、前向きなチャレンジを促す人材教育制度の構築を推進しています。さらに、今後のダイヤモンドシティの急成長を睨み、安全でかつ健康に働ける環境基準の整備にも積極的に取り組んでいます。

積極的な社員教育を推進

ダイヤモンドシティでは、2004年に新規SCを6店舗オープンさせていますが、今後さらにそのスピードを加速させることを計画しています。この急成長を支える鍵は優秀な人材です。人事部門では、ダイヤモンドシティの241人(うち女性69人)の全従業員(11月末現在)に対して、毎年、階層別研修や目的別研修などを実施し、人材の育成に努めています。今後は、女性社員の登用を積極的に推進していく考えであり、女性が働きやすい職場環境の実現に向けた取り組みにも積極的です。また、近年問題が顕在化してきているセクシャルハラスメントやパワーハラスメントなどについても啓発・周知活動を行い、予防や対処について拠点ごとに相談しやすい環境づくりと適切な対応を心がけていきたいと思っています。

心と体の健康管理への取り組み

昨今、仕事のストレスによる心と身体の健康障害を防ぐことが社会的にも重要な課題として取り上げられています。従業員一人ひとりが輝く個人として活き活きと働ける環境をいかに整えられるかは、ダイヤモンドシティの課題でもあります。SCの開発・運営・管理を行うというビジネスの

社員研修開催数(2003年度)

研修名	開催数(回)
〈階層別〉	
内定者研修	3
新入社員研修	2
中途採用研修	12
〈目的別〉	
人事考課研修	2
VP研修	2
景品表示法研修	2
NMP研修	12
BMP研修	12
営業担当研修	1

特性上、労働時間が長くなることは避けることができません。勤務時間についてはシフト制度の効率的な運用をめざしていますが、特定の従業員に負担がかかってしまうなど、現実的な問題解決に向けての抜本的な対策が課題となっています。現状では、全従業員には年一度の健康診断を、また、35歳以上の社員については成人病検診を実施しています。また、著しい労働環境の悪化が起きないように、毎月各SCマネージャーあるいは所属長のもとに、労働状況を把握するシステムを導入しています。また、本部の人事スタッフが、すべてのSCを訪問し、ヒヤリングによるケアを心がけています。しかしながら、メンタルケアの分野については、今後注力しなければならない分野として認識しており、早期に抜本的な制度を構築する考えです。

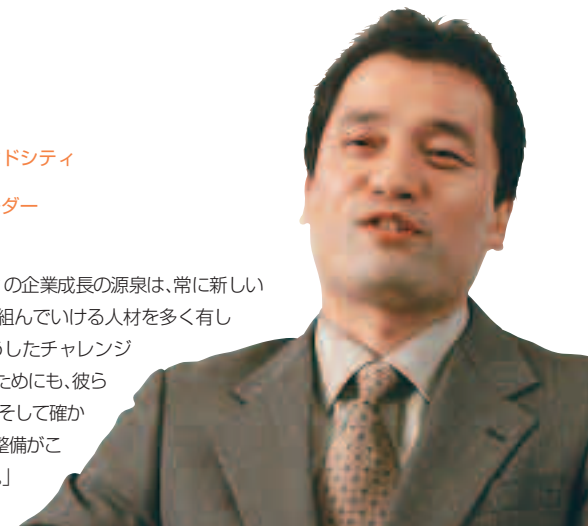


社員研修風景

株式会社ダイヤモンドシティ
コーポレート本部
総務部人事担当リーダー

藤木 光広

「ダイヤモンドシティの企業成長の源泉は、常に新しいことに積極的に取り組んでいける人材を多く有していることです。こうしたチャレンジ精神旺盛な従業員のためにも、彼らの体と心の健康管理、そして確かな教育プログラムの整備がここからの課題ですね。」



環境への取り組み

私たちダイヤモンドシティが環境対応を考える上では、まず第一に自らの事業活動において環境負荷を低減し、資源効率を高め、持続可能な経営を確立させる必要があります。また同時に、私たちが関わる幅広いステークホルダーの皆様に対しても、ビジネスを通じて社会全体の環境負荷の低減、資源効率を向上させる努力を求めます。私たちはこうした企業努力の結果として、持続可能な社会の構築へ貢献したいと考えています。これが、SCの開発・運営・管理というビジネスを営むダイヤモンドシティがめざす環境経営です。

環境方針 環境目的・目標(2004年度)

ダイヤモンドシティでは、明確な環境方針のもとに具体的な目的および目標を設定し、日々のビジネス活動に組み込んだ展開を行っています。

環境方針

(株)ダイヤモンドシティは、ショッピングセンターの開発・運営・管理を通じて、地域社会の発展に貢献する商業専門ディベロッパーとして、地球環境に配慮し、事業活動のあらゆる面において、地球環境の保全と改善に努め以下の内容に全社をあげて取り組みます。

1. 事業活動を通じて、環境負荷を最小限にし環境の保全と汚染の予防に取り組みます。

- ① 省エネ・省資源の推進。
- ② 廃棄物の削減と再資源化。
- ③ 水質汚染・大気汚染の低減。
- ④ グリーン購入の積極的推進。
- ⑤ 環境に配慮したショッピングセンターの開発。
- ⑥ クリーン活動への取り組み。

2. 事業活動を通じた環境保全活動に、目的・目標を設定し、定期的に見直し、継続的改善に努めます。

3. 環境保全に関連する法規制の要求事項を遵守します。

4. この方針を実行し、維持するとともに、全従業員に周知徹底致します。

5. この方針を広く情報公開致します。

2004年6月1日制定
株式会社ダイヤモンドシティ
代表取締役社長 鯛 洋三

2004年度 環境目的・目標

① 省エネ・省資源の推進

- (1) 電気・ガス・水道の使用量低減

本社・事務所およびショッピングセンターの共用部

電気：全社平均1%削減

ガス：全社平均1%削減

水道：全社平均1%削減

(全SC年間計画数値に対して)

② 廃棄物の削減と再資源化

- (1) 廃棄物の適性分別管理
- (2) 廃棄物の分別によるリサイクル回収の推進

③ 水質汚染・大気汚染の低減

- (1) テナント・グリストラップによる水質汚染の防止
- (2) 清掃(ワックス)による水質汚染の低減
- (3) 殺虫剤による水質汚染の低減
- (4) アイドリングストップ運動の推進による大気汚染の低減(CO₂排出規制)

④ グリーン購入の積極的推進

- (1) グリーン購入特定調達物品の使用

⑤ 環境に配慮したショッピングセンターの開発

- (1) 省エネ機器の導入
- (2) ハートビル法・ユニバーサルデザインの導入
- (3) 植樹の推進

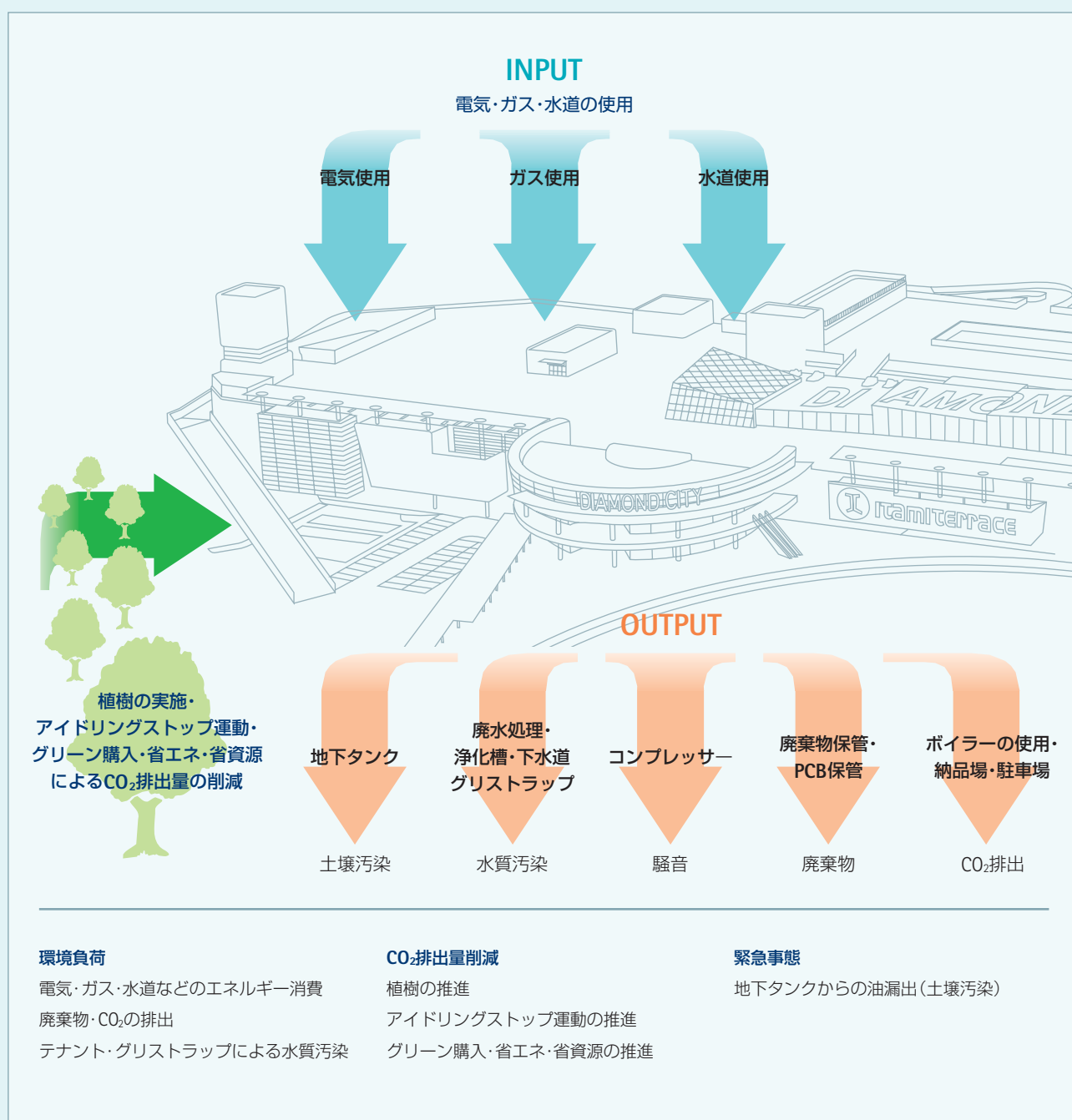
⑥ クリーン活動への取り組み

- (1) 周辺地域での定期的なクリーン活動の実施
(ディベロッパーとテナントとの共同実施)

→ クリーン活動の実施：全SCにおいて計画的に実施

事業活動と環境との関わり

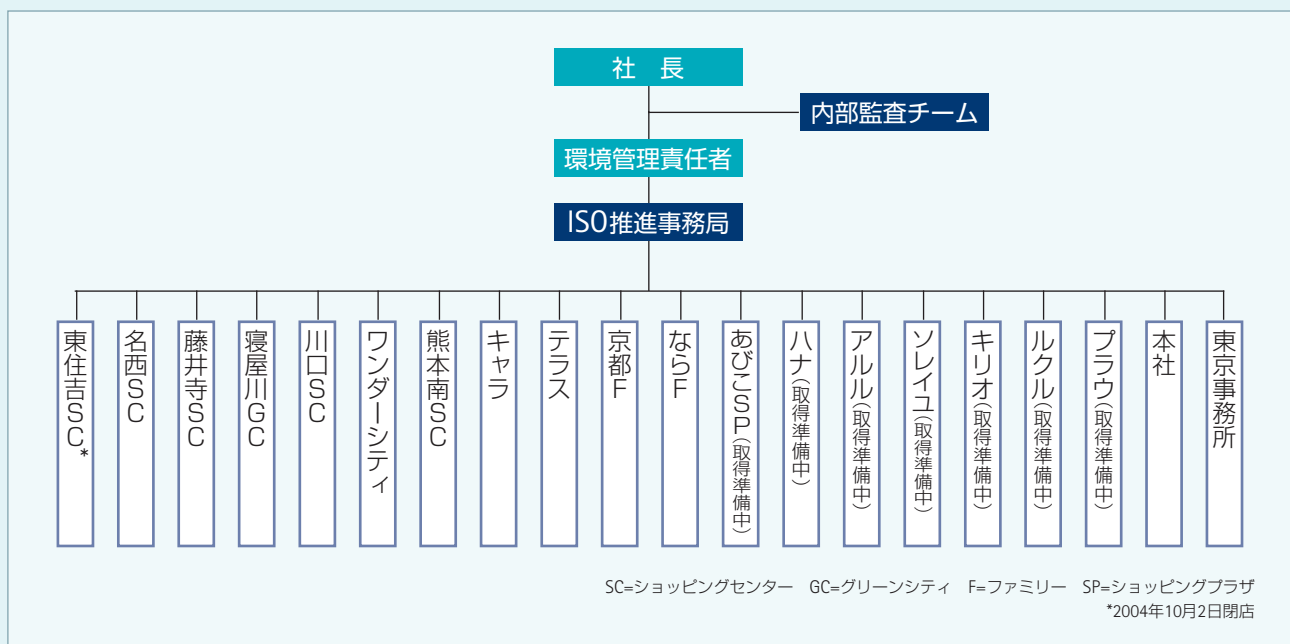
私たちダイヤモンドシティは、全国に展開しているSCにおいて、電気・ガス・水道などのエネルギー使用量の低減を重要課題として捉え、環境負荷の低減に努めています。関連法規の遵守、従業員およびテナントへの啓蒙や教育などを積極的に推進することで、継続的な改善を図っていきます。また、各自治体の条例の遵守はもちろん、各SCにおいて効果的で適切なメンテナンスによる環境負荷の低減と環境保全に努めています。



環境マネジメントシステム

私たちダイヤモンドシティは、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を取得しています。Plan(計画)－Do(運用)－Check(監視測定)－Action(見直し)というPDCAサイクルに基づいた継続的改善を目的に、社内組織の整備、内部監査の実施、環境教育の実施など、全社一丸となって環境負荷の低減に取り組んでいます。

組織図

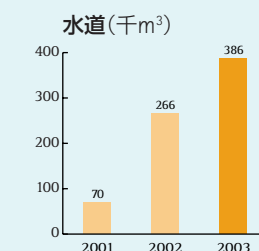
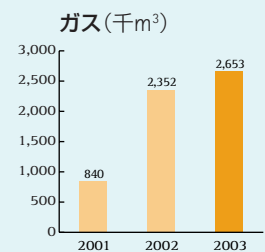
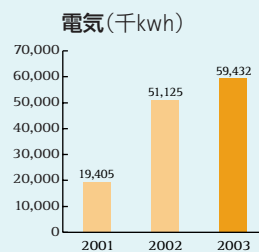


2004年度の年間スケジュール

2003年度の実績を評価の上、見直しを行っています。今年度は、部門別、階層別の環境教育の他、ポスター・ハンドブックの配布、現場での教育に重点的に取り組みます。

3月～5月	経営層による見直し 法規制見直し 環境方針、目的・目標公開
6月～11月	OPマネージャー他研修 ISO内部監査の開始 SCでの手順・基本教育 SCでの法規制教育 ISO内部監査および報告
12月	継続審査
1月	継続認証
2月	年間数値集計 各現場での見直し検討

エネルギー・資源の使用状況



*2001年度は10月～3月迄の実績数値です。

*2002年度の数値は、ダイヤモンドシティ・テラスを除いた各事業所の総計です。

*2003年度数値は、テラスと各SCの増床および営業時間延長などが加味された数値です。

環境への取り組みと環境教育

環境に関する取り組みを推進するためには、社員一人ひとりの意識を高めることがより重要です。ダイヤモンドシティでは、環境方針・目的・目標やISO14001に基づいた正しい認識と知識を深めるための継続的な環境教育や啓発活動を実施しています。例えば、一人ひとりが守るべき項目を設定した「社員携帯カード」を全社員に配布し、携帯することを義務づけることで、遵守状況のチェックを常に行える体制を構築しています。

2004年度の環境教育に関する受講人数と回数

	受講人数(名)	回数(回)
本社での管理者研修	37	2
新人教育研修(中途採用を含む)	51	7
現場での環境意識の向上について	延べ291	30
環境に関する資格取得の目的について	1	1

省エネ・省資源の推進

ダイヤモンドシティでは、環境負荷低減のため、SCの計画・設計段階より省エネ機器の導入についての比較検討、館内の環境設計などの省エネ・省資源の推進に積極的に取り組んでいます。

(省エネ・省資源への取り組みの実例)



電力会社の推奨する蓄熱受託制度を利用した大規模氷蓄熱システムをSCで採用しており、CO₂の削減に貢献しています。



地域社会のゴミ処理問題への対応の一環として、分別用ゴミ箱をすべてのSCに設置しています。



地下水の使用を可能とするために、濾過システム装置を稼働させています。
(井水濾過システム装置)



生ゴミ処理機を導入し、SCで排出される生ゴミを処理、コンポスト化して肥料として利用しています。
(テラスに設置)



SCで消費される電気を適正に規制・管理し、使用量の削減に役立てています。
(インバーター装置)



CO₂削減のため、SCにおける自家発電システムを廃止する方向で準備しています。
(川口GC)

グロサリー(用語集)

● CSR

Corporate Social Responsibilityの略で、日本語では一般的に「企業の社会的責任」と表される。近年、「マルチ・ステークホルダー・エコノミー」を背景に、企業と何らかの利害関係を有する主体(ステークホルダー)それぞれとの関係をこれまで以上に大切に、具体的かつ実効性のある配慮行動をとることの重要性が増している。

● GRIガイドライン

組織の活動内容について、持続可能な社会に向けてどのように貢献しているかを、経済・環境・社会的側面について報告する全世界で適用可能なガイドライン。

● SRI

Social Responsible Investment(社会的責任投資)の略。財務分析による投資基準に加え、社会・倫理・環境などにおいて社会的責任を果たしているかを基準に投資行動をとること。

● 企業市民

Corporate Citizenの訳語。社会を構成する様々な主体とバランスよく連携を図り、「社会の一員として社会に役立つ事業活動を行う」という姿勢を指して「企業市民」と呼ぶ。市民は一個人を指すものだが、企業も社会を構成する一市民と捉え、擬人化した表現である。

● プロパティ・マネジメント

投資家・不動産所有者などから委託された対象不動産の運営・管理業務を行い、その不動産からの収益と不動産価値の最大化を図るもの。

● ディベロッパー

土地を購入して建物を建てる計画をし、建築士に設計と工事監理を依頼し、建設会社に建物の施工を依頼し、購入者に販売するもの。高い物件価値を実現する企画力が問われる。

● ISO14001

国際標準化機構(ISO)が作成した環境に関する国際規格。組織活動、製品およびサービスの環境負荷の低減といった環境パフォーマンスの改善を実施する仕組みが継続的に運用されるシステム(環境マネジメントシステム)を構築するために要求される。

● 大規模氷蓄熱システム

割安な夜間の電力を利用して氷をつくり、熱を蓄積し昼間の冷房に利用するシステム。

昼夜電力の平準化と環境保全、並びにランニングコストの低減と運用管理のメリットが実現する。ダイヤモンドシティでは、流通業界最大級の氷蓄熱量の規模となり、その環境への貢献に対し、2年連続で(財)ヒートポンプ・蓄熱センターより感謝状の贈呈を受けています。

● ハートビル法

高齢者や身体障害者などが円滑に利用できる建築物の建築の促進を図ることを目的として、1994年に制定された「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律」(2002年7月12日法改正、2003年4月1日施行)の略称。多数の者が利用する建築物などを建築する者に対し、障害者などが円滑に建築物を利用できる措置を講ずることを義務あるいは努力義務として課すもの。

● ユニバーサルデザイン

年齢や障害の有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすること。すなわち、すべての人にとって快適なデザインを指す。

● バリアフリー

人を隔てたり、行動を妨げたりする障壁(バリア)を除去した状態を表す言葉。建物内の段差の解消など、物理的障壁の除去という意味合いが強いが、より広く、「障害のある人の社会参加を困難にしている社会的・制度的・心理的な全ての障壁の除去」という意味でも用いられる。



私たちは 「愛するまち」を、あなたとつくる。 を実践していきます。

SCの基本は、誰もが利用しやすいこと。立地条件にこだわり、年齢・性別に関係なく皆様に便利さを感じていただくことを重視しています。そして、何でもそろっていること。すべてのお客様が満足でき、楽しく過ごすことを可能とする快適さの演出を追求しています。また、地域社会を守り、文化を育むことを忘れてはなりません。SCは、モノやサービスを提供するだけの場ではありません。コミュニティ拠点として、地域に望まれ、そこに暮らす人々の生活をより豊かにすることに貢献できなければなりません。私たちは開発段階から、地域に古くから伝わる伝統や固有の文化を尊重し、保護していくことを積極的に推進しています。最後に忘れてならないことは、思いやりです。人と環境にやさしいSCであることが、今後より強く求められるようになってきます。高齢者やお体の不自由な方への配慮の他、省エネやリサイクルにも積極的に取り組んでいます。

こうしたコンセプトに基づいて私たちが手がけてきたSCは、地域社会の発展と人々の生活文化の向上に貢献してきています。私たちは“「愛するまち」を、あなたとつくる。”のビジョンのもとに、今までにない、新しいスタイルをこれからも創出していきます。

私たちの名前はダイヤモンドシティです。





株式会社ダイヤモンドシティ

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町 2-4-11
クラブウアネックスビル
tel:06-6261-9600 (代)
fax:06-6261-9610

本報告書はホームページでもご覧いただけます。
URL <http://www.diamondcity.co.jp/>

FSC森林認証紙使用
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキ使用